

Since wars begin in the minds of men, it is in the minds of men that the defences of peace must be constructed.

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない。(ユネスコ憲章前文より)



鎌倉ユネスコ

会報
第118号

ホームページ <https://www.kamakura-unesco.or.jp>

題字 平山郁夫初代会長

1989年6月創刊 特定非営利活動法人 鎌倉ユネスコ協会 : 会長 佐藤美智子

発行部数600部 発行・理事長小川研一 : 事務局〒248-0012鎌倉市御成町11-2ヤノヤビル2F 電話080-3454-0812

【編集部】小川研一、尾花珠樹、長嶋裕子、新倉恒章



目次	1ページ 表紙・法人会員	6ページ 絵画展
	2ページ 鎌倉ユネスコ新春座談会	7ページ 永遠平和、アフリカと日本、世界平和
	3ページ 鎌倉ユネスコ新春座談会	8ページ キューバ料理、国際交流フェスティバル
	4ページ Givingをシステムに、SDG委員会みらい塾	9ページ 市民活動フェスティバル、事務局便り
	5ページ 稲村ヶ崎の砂鉄を使った「たたら製鉄」	10ページ 法人会員新年ご挨拶

鎌倉ユネスコは、次の法人会員の方々に賛助会員として活動を支援していただいています(順不同)

鎌倉女学院/鶴岡八幡宮/鎌倉大仏殿高德院/山田養蜂場/御代川/絲綢社/清興建設/石井印刷/豊島屋/鎌倉プリンスホテル/
井上蒲鉾店/アベックス/信光社/鎌倉パークホテル/アスラン/大塚製菓・横浜支店/鎌倉アソシエーツ/かまくら春秋社/
斉藤建設/江ノ島電鉄/北鎌倉女子学園/博古堂/鎌倉ビール醸造/神中運輸/ナカムラ生花/鎌倉ハム富岡商会/華正楼・鎌倉店/
大塚オーミ陶業/神奈中観光/MAKOTO税理士法人/セラリカNODA/麓技研/鎌倉紅谷/地域生活サポートまいんど



鎌倉ユネスコ 新春座談会

鎌ユ、スタートから35年 その出会いと課題

出席者：佐藤美智子会長、小川研一理事長、広瀬晴子会員、小池治理事

鎌倉ユネスコとの出会い

司会 明けましておめでとうございます。本年は鎌倉ユネスコ協会が1988年に平山郁夫画伯を初代会長にスタートして35年目の節目の年になります。まずは平山画伯と半世紀以上のご縁があり、2010年からは平山会長のお志を継承し第二代会長としてご尽力いただいております佐藤会長からお願い申し上げます。

61年前に平山画伯から絵のレッスン

佐藤 2000年に平山画伯から副会長にとのご要請があり、その任をお受けしましたのは



UNESCO親善大使をはじめ世界的な文化財保護のご活動に驚くほどご多用の中で精力的にご制作なさって居られた先生を少しでもお手伝いできたらの想いがあったからでした。

平山先生との出会いですけれどもそれは1961年に遡ります。石草流華道家元の岩田清道さんが絵を勉強なさるに当たり、前田青邨画伯にご相談なさったところ、当時東京芸大の助手でいらした平山先生をご紹介くださり、岩田先生から「一人で教えていただくのは勿体ないから」とのお誘いで姑の奨めもあり、お仲間と共にご指導いただくことになったのでした。先生31歳、私26歳のときでした。

爾来、院展や様々な会合でお会いするたびに、先生の第一声は「描いてますか？」で、月並みな挨拶抜きでのこの一言に、先生の絵に対する熱い思い

を感じ、元気をいただいたものでした。した。

司会 佐藤会長には平山会長ご晩年の数年間は会長代行として多くの公務をお引き受けいただきました。では次は小川理事長をお願いします。

敦煌と姉妹都市が契機

小川 鎌倉市は1998年9月に中国の敦煌と姉妹都市締結が実現しました。その準備段階で敦煌と深いつながりがあられた平山画伯のお力をお借りしたく、二階堂のお宅を何度となく訪問しました。



1980年代の鎌倉には大勢の芸術家文化人が勢揃いして居られましたが、なかでも、平山画伯は飛び抜けた存在でした。文化財赤十字運動の展開、また高句麗古墳の世界遺産登録をめざしての物心両面での支援を通じて北朝鮮とも繋がりがあられ、政府からも接触の窓口として期待・信頼が寄せられていました。

ところが一方で先生は東京上野の芸術村に引っ越しされるのではないかと風評もあり、鎌倉の地に住み続けていただくべく腐心していました。

そのような折、1998年秋、先生は60歳代の若さで文化勲章を受章されました。そこで鎌倉でお祝いの会を開くことになり、市内の5団体で実行委員会を設けて会長を佐藤美智子さんをお願いしました。

祝賀会は大盛会でしたので、この会を契機に「平山画伯を囲む会」を作り、以来、平山先生関連の美術館訪問、講演会など多岐にわたる展開をしたので

佐藤 当時、小川さんは市の文化推進課長であられたかと思いますがよく、あれだけ沢山の行事をこなしていただけたと改めて感服しています。あの頃はちょうど「鎌倉を世界遺産登録に」の動きが話題になっていた時期ですが、円覚寺での講演会で平山先生が「世界遺産登録はそう簡単ではない」とおっしゃっていたのが印象的でした。

スタディツアーも何回か企画していただきましたが、中でも最も参加者が多かったのは1982年、平山画伯が20年の歳月をかけて完成奉納なさった薬師寺玄奘三蔵院の作品参観の旅でしたね。70名の参加でしたね。

もう一つは2009年に2泊3日で訪問した平山会長の生地・瀬戸田にある平山美術館と、鳴門の大塚国際美術館。その両美術館の内容の素晴らしさに感激ひとしおは当然のことながら、大塚美術館に付設の学術員接遇館で出でくださったカルフォルニア・ワインの美味しさ、忘れられませんね。（同感の声）

小川 ハヶ岳の平山郁夫シルクロード美術館はもう5回以上、これはバスツアーで参観していますよね。そして2009年12月2日、平山先生がご逝去なされ、翌年3月5日に「平山郁夫画伯を偲ぶ集い」を鎌倉ユネスコ、美術連盟、囲む会の共催で鎌倉美術館を会場に開催し、その会合をもって囲む会は収束となった次第ですけど、その間、佐藤会長には多大なご支援ご協力をいただき、そんなわけで2019年に鎌倉ユネスコの理事長就任を打診された折は快諾し、今日に至っています。

司会 では次にUNESCOパリ本部の

人事局長というご重責を10年にわたってお勤めになられ、2012年に鎌倉ユネスコでの講演を契機に会員にお入りくださった広瀬さんをお願いいたします。

UNESCO本部で10年勤務

広瀬 鎌倉ユネスコ協会入会の動機は元ユネスコ本部職員としてはごく普通



なことでした。私は、幼い時から世界を見たいという夢を抱いていたのですが、それをかなえたのは意外と遅く、既に結婚してい

た33歳で米スタンフォード大学院に2年半留学し、「志次第で何才でもチャレンジすれば道が開ける」ことを実感したのが転機になりました。そしてUNESCOの人事局長のポストに応募してパリの本部に赴任したのは46歳の時でした。在任中、米英が脱退したことにより予算が3割減になり、大量の人員整理を担当したり、苦労も多くありましたが、何とか乗り切りました。その後UNIDO（国連工業開発機関）に勤務し、15年の国連システム勤務の後、駐モロッコ日本大使を3年強勤めて20年近い海外勤務（後半は単身赴任）の後に帰国しました。帰国後は、研究者で、アルピニストでもあった夫の希望もあり、鎌倉山に居を定めました。

司会 ではお待たせいたしました。最後に小池理事、よろしく。

鎌ユの講演会の講師がご縁

小池 8年ほど前に当時の鎌倉ユネスコ理事長の石田さんから横浜国立大学付属鎌倉小・中学校のユネスコスクール加盟についてご相談を受けたのがご縁の始まりでした。その後、ESDパス

ポート発表会にアドバイザーとしてお招きいただいたり、高德院で鎌倉ユネスコの皆さまにESDのレクチャーをしたりしているうちに皆さんと顔見知りになり、2017年度に入会いたしました。



私は1996年フルブライト留学生としてアメリカに行きました。帰国後、横浜国大に赴任し、みなとみ

らいの国連大学高等研究所でESDのお手伝いをしていた時、横浜全体でESDを通じ世界をつながって行こうと、学生とFieldworkでフィリピン、マレーシア、ケニアなどに行きました。

鎌倉は自然保護のために活動していて、それに関心を持っています。私は鎌ユに入会とほぼ同時に日ユの評議員になり、現在は中部東ブロックの代表理事、日本ユネスコ国内委員会委員としての活動も始まっています。

司会 小池理事は、理論・実践面で新しい風をもたらしてくださったと、皆さまが期待なさっている次第です。

それでは最後にこれからの活動についてのご抱負・ご提案を、ご発言順を逆に、小池理事からお願いいたします。

これからの課題と抱負

若い人たちにユネスコと出会う場を

小池 若い人へのアプローチが大切ですね。SDGsみらい塾は当初、対面でのワークショップなどでディスカッションしながら寺子屋のような活動だったと思います。こういう活動は特に大切です。その後コロナ禍でオンラインでのみらい塾になって心配はありましたが多くの人たちに参加してもらったと思います。これからコロナが落ち着いてきたらみら

い塾の内容も考えていきたいと考えています。

広瀬 これからはいろいろなイベントに若い方を誘って参加してもらうことが大切です。コロナが収まったらパリでのUNESCO総会傍聴などのツアーもやりたいですね。市民サイドの活動を盛り上げて世界遺産にも再挑戦するのも良い。石の文化と木と紙の文化の違いなど西洋との違いを強調したいものだと思います。

小川 理事長に就任してすぐにコロナ禍になり、活動には実際にあまりかわれませんでした。鎌倉は歴史、文化、自然が豊かなところなのだから、それらに取り組み活動への再構築も必要だと思います。

佐藤 鎌倉ユネスコも石田さんがESDを始めて、小池さん、小島さんなど活躍してくださる壮年の方々に入ってください、活発になったと思っています。これからは若い世代の関心をひく活動をしていけたらと願ってやみません。

司会 長時間のご協力、ありがとうございます。会場をご提供くださった高德院さまに深謝し、これで座談会を終了いたします。



司会・尾花珠樹副会長

記録・長嶋裕子事務局長

写真・新倉恒章事務局次長

“Giving”をシステムに組み込むために

COVID-19以来、久しぶりの海外生活を送っているが、日々、現地の方々の「親切」に助けられている。そんな中、気になる指摘を受けた。あるタイ人と話していると、「日本は好きだが、日本に旅行に行くと苦勞することが多い。困っていても、なかなか助けてもらえない」と愚痴をこぼしていた。

実は、それを裏付けるデータもある。イギリスの慈善団体「チャ

リティーズ・エイド財団(CAF)は、「世界寄付指数(World Giving Index)」と呼ばれる調査結果を毎年発表している。この調査では、過去1カ月に「見知らぬ人を助けたか」、「慈善団体にお金を寄付したか」、「ボランティアに参加したか」の3つの“Giving”を行った人の割合を調べている。前述のタイ人のコメントに係るところで言えば、「見知らぬ人、または助けを必要としている人を助けたか」が該当するが、日本は114か国中114位と最

下位になっている。ちなみに総合ランキングでも最下位であった。

なぜそうなっているかが問題であるが、日本人に親切心がないとも思えない。「贈与」をどのように社会システムに組み込むのかは、重要な人類知である。そんな問題意識から、テクノロジーの力も少しだけ使いながら、“Giving”を社会システムに組み入れるための研究と社会実証実験に取り組んでいる。

(山本達也)

SDGs委員会みらい塾

第4期SDGsみらい塾は、6月12日(土)のキックオフシンポジウム「世界平和の危機～ユネスコ憲章の理念に立ち返って」から始まりました。これはロシアのウクライナ侵攻を受けて企画したもので、日本ユネスコ協会連盟の鈴木佑司理事長の基調報告に続き、神奈川県弁護士会の高岡俊之会長、横浜国立大学の小林誉明准教授、コンゴ出身のムエンゲさんに人権問題を中心にオンラインで討論をしていただきました。また、7月3日から11月6

日まで全9回の講義についても、新型コロナウイルス予防の観点から、すべてオンラインで開催しました。そのうち第4回は、第8回アフリカ開発会議(TICAD8)サイドイベントと位置づけ、「アフリカと日本」と題する公開シンポジウムを開催しました。

オンラインには双方向のコミュニケーションが難しいという欠点がありますが、遠隔の人が参加できるという利点もあります。今回のシンポジウムでも全国各地のユネスコの関係者に参加していただくことができました。

なお、第4期の受講生は、高校生と大学生が各7名、一般が20名で、多くの若い世代に受講していただいたことは何よりでした。10月16日の第8回は「SDGsとユース」をテーマに、長野ユネスコ協会青年部の長坂亮介さん、鎌ユ青年部の谷本慧美さん、鎌ユ国際交流委員会の伊奈東子さんにご登壇いただき、ユネスコ活動へのユースの参加について貴重な意見をうかがうことができました。

(小池治)

井上蒲鉾店

アピセラピーを追究する。

山田養蜂場

YAMADA BEE FARM

〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194

TEL : 0868-54-1971

URL : <https://www.3838.com>

稲村ヶ崎の砂鉄を使った「たたら製鉄」の再現 ～郷土史から消えた鎌倉の製鉄文化の謎～

2022年8月7日(日)14時～16時、NPOセンター鎌倉において科学・環境委員会主催勉強会「稲村ヶ崎の砂鉄を使った「たたら製鉄」の再現 ～郷土史から消えた鎌倉の製鉄文化の謎～」が対面／オンラインのハイブリッドにより開催されました。元鎌倉高校科学会顧問の木浪信之先生を講師としてお招きし、(1)たたら製鉄の成立と発展 (2)鎌倉たたら製鉄の再現 (3)ケラの鍛造と元素分析 (4)消えた鎌倉の製鉄文化、の内容によるご講演をいただきました。

古墳時代より全国各地に存在した、たたら製鉄所が慶長時代以降は鉄素材の高品質・均質化が求められたために奥出雲産に統一されたという歴史のお話や、同校科学研究会の生徒とともに試行錯誤しながら当時のたたら製鉄法を再現し砂鉄から純鉄を製錬した実験記録など大変興味深いお話を伺うことができました。

会場には、砂鉄・たたら鉄・製作した短刀の実物も展示され、聴講者みなさん大変魅入られて

いました。現地およびオンラインの聴講者から盛んに質問があり、非常に充実した勉強会となりました。

また、勉強会に先立つ8月3日(水)、神奈川県唯一の古代製鉄遺跡「上郷深田遺跡」の調査を行った横浜市埋蔵文化財センターへの見学会が実施され、同センター鹿島氏から上郷深田遺跡やその時代背景に関する歴史的なお話を伺うことができました。(松木伸行)



木浪信之先生のNPOセンター鎌倉でのご講演では聴講者から活発な質問があった。(ハイブリット会議)



鎌倉の砂鉄(サンプル瓶)、および自作のたたら炉で得られた鉄塊(ケラ)



得られたたたら鉄をもとに、秦野の刀工・森光廣氏による作刀と鎌倉の研師・本阿弥家の戸村厚之氏により研ぎ澄まされ製作された短刀(上記画像)



鹿島氏(左)の説明を聴く
横浜市埋蔵文化財センター



横浜市埋蔵文化財センター鹿島氏
(右から二人目)とともに

開業120周年

江電



日本のナショナルトラスト団体第1号

公益財団法人 鎌倉風致保存会

〒248-0011 鎌倉市扇ガ谷4-29-1

TEL0467-23-6621 FAX0467-23-6631

E-mail fuhchi@fsinet.or.jp

みどりのボランティアと一緒に汗を流しませんか！

絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展 2022年

いつまでも住み続けられる町であるために (SDGs)

青少年委員会

2022年度の絵画展は、これまでの絵を描くテーマ、身近な文化財や自然に加えて、SDGsの目標を達成するための「わたしの町の」取組みも「たからもの」として子どもたちに考えてもらうことにしました。

国連が2015年に「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択したのを受けて、国

連の専門機関であるユネスコは、教育の分野においてその目標達成に努めるミッションを与えられているからです。

応募作品は小学校16校から82点 中学校2校から30点の合計112点でした。

12月23日から25日の三日間、鎌倉生涯学習センターの地下ギャラリーで絵画展を開催し、応募作品をすべて展示

しました。来場者は278名でした。

25日には、松尾市長、岩岡教育長にもご出席いただき、絵画展の会場で各賞の賞状を授与するセレモニーを行いました。

受賞した作品は次のとおりです。どの絵も子どもたちの思いがこもった素晴らしい出来栄です。(伊東)

鎌倉市長賞



「海にいる生き物もどつくれ」
鈴木源
七里ガ浜小学校4年

鎌倉市教育委員会賞



「近くて遠い釈迦堂」
今井千尋
横浜国立大学教育学部附属鎌倉小学校4年

日本ユネスコ協会連盟会長賞



「ひっそり生きてる森と湖」
なら崎ルリ子
岩瀬中学校1年

鎌倉ユネスコ協会会長賞



「夜の広町りよく地」
わたなべるい
西鎌倉小学校3年

優秀賞



「トンネルをめけるとアジサイの花園」
金子貴大
第一小学校6年

優秀賞



「すごいかんのんさま」
中村爽
小坂小学校1年

優秀賞



「ゆかりのある鎌倉」
玉澤永理
鎌倉女学院中学校1年

優秀賞



「大きな大仏」
多田瑛音
第一小学校3年

優秀賞



「私たちの暮らしを見守る観音さま」
大門凜帆
第一小学校6年

優秀賞



「マジックアワーの夕風」
山内愛子
鎌倉女学院中学校1年

優秀賞



「氷川丸」
大日向柚羽
鎌倉女学院中学校1年

優秀賞



「酒の市」
杉浦百音
鎌倉女学院中学校1年



会場、鎌倉生涯学習センター・きらら 地下2階ギャラリー



絵画展受賞者記念撮影

今こそカントの「永遠平和」を

このたびロシアが、全く一方的にウクライナの何の罪もない多くの国民を平気で虐殺し、領土を奪っているプーチンの余りの邪悪さに憤りを感じ、唾然としています。今この時こそイマヌエル・カントの著作「永遠平和のために」(中山元訳)を学び直したいです。

当著作には、フランス革命直後の18世紀末にして、世界の各国が戦

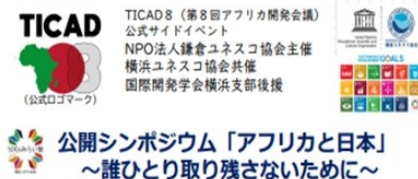
争に突っ走る独裁国家にならないように行政権と立法権が明確に分離された「共和的な体制」にする、今の国連につながる「国際的な連合」の創立、などを提案した先進性に驚かされますが、真に注目すべきは「道徳の形式と政治の一致」を各国に求めていることです。「道徳の形式」は「常に普遍的な立法の原理とみなされるよう行動せよ」という定言命法であり、人間は誰でもが持っている実践理性によりそれを

共有できるため、各国の政治を司る「法」は実質的に調和されたものになり、2国間で発生するトラブルは戦争の手段によってではなく両国の「法」で調整することができるので、結果的に「永遠平和」が実現されることになる、というのがその主張です。確かに一つの理想論ですが、すべての人が互いを思いやる善意の世界の実現を目指すよりは現実味があると思います。(石田喬也)

公開シンポジウム「アフリカと日本～誰ひとり取り残さないために」開催

SDGs委員会では、2022年8月にTICAD8(第8回アフリカ開発会議)がチュニジアで開催されることから、SDGsみらい塾の第4回をTICAD8サイドイベントと位置づけ、公開シンポジウム「アフリカと日本～誰ひとり取り残さないために～」をオンラインで開催しました。開催にあたっては、これまでTICADが横浜で開催されてきたことから横浜ユネスコ協会に共催をお願いするとともに、国際開発学会横浜支部から後援をいただきました。シンポジウムの前半では、サブサハラ・アフリカの現状と持続可能な開発について、4名の研究者から報告をいただきました。最初に、フェリス女学院大学の堀尾藍さんが、ザンビアの難民施設における教育活動

を事例に、アフリカの教育の現状について報告しました。次に、土壌学が専門の帯広畜産大学の木下林太郎さんから、ケニアにおけるジャガイモの有機栽培に関する研究成果についての報告をいただきました。笹川平和財団海洋政策研究所の小林正典さんからは、アフリカにおける水産業の現状とIUU



(違法、無報告、無規制)漁業の問題が提起され、とくに中国の影響について指摘されました。そして最後に、鎌倉ユネスコ協会の小池がアフリカの民主主義の歴史と現状について報告しました。

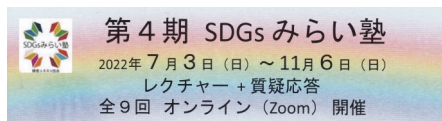
シンポジウムの後半では、4名の報告者にパネラーになっていただき、「アフリカの持続可能な開発と日本の貢献」をテーマにパネルディスカッションを行いました。貧困や気候変動の影響が最も深刻なサブサハラに対して、日本はどのような支援を行うべきか。パネリストからは、日本の里山における伝統的な農法や小規模漁業者による里海の実践の意義が提起されたほか、国のODA(政府開発援助)の増額や地方自治体による積極的な支援の必要性などが議論されました。

最後に、シンポジウムのとりまとめにあたり、元ユネスコ事務総長顧問の服部英二さんから、アフリカの開発問題をテーマとする公開シンポジウムを鎌倉ユネスコ協会が開催した意義についてお話いただき、関係者一同、心よりうれしく思いました。(小池治)

公開シンポジウム「世界平和の危機」開催

2022年6月12日(日)午後2時から4時まで、第4期SDGsみらい塾キックオフシンポジウム「世界平和の危機～ユネスコ憲章の理念に立ち返って」をZoomで開催しました。シンポジウムの総合司会は、SDGsみらい塾の第一期生で早稲田大学1年の谷本慧美さんをお願いし、尾花珠樹副会長の開会挨拶、鎌倉市

の松尾崇市長の来賓挨拶(ビデオメッセージ)に続き、日本ユネスコ協会連盟の鈴木佑司理事長から基調講演「世界平和と民間ユネスコ活動」をいただきました。鈴木理事長はわざわざ鎌倉までお越しいただき、西口ラウンジ会議室から熱弁をふるわれました。後半のパネルディ



スカッションでは、コンゴ民主共和国出身で、ご自身が難民のギラン・ムエンゲさん、横浜国立大学で開発協力論を担当されている小林誉明准教授、神奈川県弁護士会会長の高岡俊之弁護士、そして日ユの鈴木佑司理事長にご登壇いただき、世界の人権危機の現状、難民問題、そして世界平和における市民活動の意義について多面的にご議論いただきました。(小池治)

国際交流委員会「料理を通して国際理解」キューバ編

9月21日(水)鎌倉市福祉会館調理室にてキューバ料理講習会が行われた。これは2020年6月に実施予定でキューバ大使夫人にお願いしていたのがコロ



ナ禍で2年半ずれた催しです。会員に

はちらして、市民には広報かまくらで募集し16名の参加者がありました。キューバ大使館からは大使夫人、秘書、コックさん、会員は9名、会員外は4名で内2名は広報かまくらを見てのご参加。初参加は2名。お料理は3種類、ハバナ風挽肉の煮込み、キューバ風とうもろこし入りライスとバナナのトストーン。調理用バナナ調達があやぶまれましたが無事に購入頂きせんべい状に調理して頂く。飲み物はくせのない美味しいコーヒー。ご飯が炊きあがるまでの間、大使夫人のお話を伺う。ハバナ創立500年行事のビデオを放映。元気な若者の国の印象。佐藤会長か

らはお孫さんの2度のキューバ訪問のお話しあり。この催しについてはタウンニュース9月30日号に記事が載りまし

た。

大使夫人はエンジニアでありながら穏やかな方で、すっかりキューバファンになりました。(奥山誼子)



この日のメニュー

ハバナ風挽肉の煮込み、
キューバ風とうもろこし入りライス
バナナ「トストーン」

「第27回かまくら国際交流フェスティバル開催される」

鎌倉国際交流フェスティバルは鎌倉市内を中心に国際交流や国際協力を行っている団体が年一回開いているイベントで、今年は11月6日(日)午前10時から鎌倉大仏殿高德院境内で好天



の中、18団体が参加して開催さ

れた。鎌倉ユネスコも例年通りバザーで参加した。コロナ沈静化そして秋晴れに恵まれたこともあり多くの観光客、参拝者でフェスティバルは大盛況であった。大仏様のもと、オール鎌倉ユネスコとして一体感を味わえた一日になった。大仏様に感謝！

パプロバさん顕彰碑修復に鎌倉ユネスコから10万円寄託

洋舞バレエを鎌倉を拠点に日本で最初に紹介し「日本バレエの母」と言われたエリアナ・パプロバさんの顕彰碑が七里ガ浜に建立され、その修復整備計画が鎌倉市によって進んでいた。鎌

倉ユネスコの識字・世界遺産保全支援委員会は同計画に賛同し、バザーの売り上げ金から10万円を、9月22日、佐藤会長、長嶋事務局長、小倉委員長が市庁舎を訪問し松尾市長に「文化遺産支援金」として寄託した。



鎌倉市役所市長室にて

就労継続支援B型 20th Anniversary

特定非営利活動法人 地域生活サポート まいんど

esamis

GALLERY&CAFE じま 豆の茶

みらくろ ふれんず

mira tane

まいんどは地域に住む障害のある方の生活や就労等の相談やお手伝いをするNPOです

鎌倉から世界へ
出版から明日を創る。

かまくら春秋社

〒248-0006鎌倉市小町2-14-7 Tel.0467-25-2864

かまくら市民活動フェスティバル

第24回かまくら市民活動フェスティバルが開催されました、今年は日時と場所を3か所に分け鎌倉ユネスコ



協会は12/10(土)、12/11(日)に、きらら鎌倉で開催されました市内のNPO団体を紹介するパネル展と、

SDGsフォトコンテストに参加致しまし

た。フォトコンテストでは会報担当の新倉理事が3月に鎌倉駅前で行われたウクライナ避難民支援の募金活動を撮影した写真が鎌倉市長賞を受賞しました。

書きそんじハガキ集計報告

書きそんじハガキはコロナ禍の中、学校関係等はそれどころでは無いというのが実情のようでした。がお陰で今年度は332,119円を日ユへ寄託できましたことご報告いたします。多くの皆様に心から御礼申し上げます。

**事務局便り**

◆第34回定例総会(6/25)をパークホテルで実施。第1号議案から第5号議案満場一致で承認される。◆7月定例理事会(7/17)は新型コロナウイルス感染者急増の為中止◇コミュ委:会報117号を発行し全会員、日ユ協連、学校関係団体へ送付。◆8月定例理事会は休会◇科学環境委:①8/7稲村ヶ崎の砂鉄を使った「たたら製鉄の再現」勉強会実施 ②8/3事前学習スタディツアー実施◆9月定例理事会(9/18) NPO鎌倉でハイブリッド形式(対面とズーム)19名出席◇青少年委:「2022絵で伝えよう!私の町のたからもの絵画展」は今年から日ユ協連SDGs活動として12/23~12/25生涯学習センターにて開催◇国際交流委:9/16料理を通して国際理解キューバ編実施16名参加◇識字世界遺産委:①毎月第2日曜倉庫バザー実施②今年度世界遺産寄附10万円は鎌倉市(エリアナ・バヴロバ顕彰碑修復)に寄託(9/22会長より市長に贈呈)◇SDGs委:8/21アフリカシンポジウム実施◆10月定例理事会(10/16)

NPO鎌倉にて17名出席◇識字世界遺産委:①毎月第2日曜倉庫バザー実施②11/6予定の鎌倉市主催国際交流フェスティバルに鎌倉ロータリークラブが協力参加予定◇国際交流委:10/2難民問題オンラインワークショップ実施◇科学環境委:10/4由比ガ浜海岸でSDGs委との共催でビーチコーミングを実施、鎌倉女子大中等部学生70名参加

◆11月定例理事会(11/20)NPO鎌倉にてハイブリッド形式で実施18名出席◇協議事項:ウクライナ支援については「平和」をテーマに今後検討◇青少年委:12/22~12/25開催◇国際交流委:12/3オンライン開催予定の「平和の鐘」について◇科学環境委:①12/3山崎・台峯緑地「秋の自然観察会」②NPOフェス◇SDGs委:11/6みらい塾第4期「全体総括」最終回、会長より修了証授与◇コミュ委:会報118号新春号発行に向けて準備中◇識字世界遺産委:①11/6鎌倉市主催高德院での第27回鎌倉国際交流フェスティバルにバザー参加②毎月恒例の倉庫

バザー実施◇事務局:①11/18鎌倉なんみんフォーラム第2回学習会報告②11/12神ユ連理事会(横浜ユ協主管)報告③11/19中部東ブロック研究会オンライン参加報告④11/26日本ユネスコ全国大会木更津で開催⑤2023/1/21パークホテルで新年会を開催予定、新年会案内状全会員へ送付済み⑥任期満了に伴う役員選考について◆12月定例理事会(12/18)休会 (長嶋)

鎌倉ユネスコ入会のお誘い

年会費 5000円

入会申し込みやお問い合わせは下記へ

<https://www.kamakura-unesco.or.jp>

編集後記

昨年はコロナ禍の中、戦争に始まり戦争で終わると言う社会になって、これからどう生きるかが問われようとしています。平和な世界を作るため生まれたユネスコです、これからもしっかりと社会を見なければと思います。



2023年謹賀新年 本年も宜しくお願い致します。

鎌倉ユネスコ法人会員ご挨拶（順不同）

- 株式会社御代川
株式会社博古堂
清興建設株式会社
鎌倉大仏殿高德院
有限会社ナカムラ生花
株式会社神中運輸
麓技研株式会社
アスラン鎌倉店
株式会社山田養蜂場
株式会社信光社
有限会社絲綢社
石井印刷株式会社
MAKOTO税理士法人
株式会社かまくら春秋社
北鎌倉女子学園
神奈中観光株式会社
地域生活サポートまいんど
- 鎌倉パークホテル
株式会社豊島屋
大塚オーミ陶業株式会社
鎌倉ビール醸造株式会社
江ノ島電鉄株式会社
株式会社井上蒲鉾店
鎌倉女学院中学校高等学校
株式会社斉藤建設
大塚製菓株式会社横浜支店
鎌倉プリンスホテル
株式会社鎌倉紅谷
華正樓鎌倉店
株式会社アペックス
株式会社鎌倉ハム富岡商会
株式会社鎌倉アソシエーツ
鶴岡八幡宮
株式会社セラリカNODA